

ご使用いただいております教師用指導書『ひろがる言葉 小学国語 教師用指導書』につきまして、下記の訂正箇所がございます。

まことに恐縮ではございますが、ご留意のうえご指導くださいますようお願い申し上げます。

令和 6 年度版『ひろがる言葉 小学国語 教師用指導書 解説編』



学年・巻	ページ	行・箇所	原文	訂正文				
1 下	81	上段 8 行め	民話の努力	民話の魅力				
2 下	130	上段 表	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> P 117 L 5 うしてかな。「ど うしてかな。」 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 「どうしてかな。」を、次の行に改 行する。 </div>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> P 117 L 8 走るといいよ </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> P 117 L 5 うしてかな。「ど うしてかな。」 </td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> 走るといいよ。 </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> 「どうしてかな。」を、次の行に改 行する。 </td> </tr> </table>	P 117 L 8 走るといいよ	P 117 L 5 うしてかな。「ど うしてかな。」	走るといいよ。	「どうしてかな。」を、次の行に改 行する。
P 117 L 8 走るといいよ	P 117 L 5 うしてかな。「ど うしてかな。」							
走るといいよ。	「どうしてかな。」を、次の行に改 行する。							

2 下	147	上段表	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">第(六)場面</th> </tr> <tr> <td> P 133 ← L 9 終わり </td> <td> ○アレクサンダのお願い 古いおもちやと一緒に捨てられそうになっているウイリー。紫の小石を見つけてとかげにお願いをするアレクサンダ。 </td> </tr> </table>	第(六)場面		P 133 ← L 9 終わり	○アレクサンダのお願い 古いおもちやと一緒に捨てられそうになっているウイリー。紫の小石を見つけてとかげにお願いをするアレクサンダ。	<table border="1"> <tr> <th>第(七)場面</th> <th>第(六)場面</th> </tr> <tr> <td> P 138 ← L 5 終わり </td> <td> P 138 ← L 3 P 133 ← L 9 ○アレクサンダのお願い 古いおもちやと一緒に捨てられそうになっているウイリー。紫の小石を見つけてとかげにお願いをするアレクサンダ。 </td> </tr> <tr> <td> ○アレクサンダとウイリーの再会 アレクサンダは、本物のねずみになったウイリーと、夜明けまで踊り続ける。 </td> <td></td> </tr> </table>	第(七)場面	第(六)場面	P 138 ← L 5 終わり	P 138 ← L 3 P 133 ← L 9 ○アレクサンダのお願い 古いおもちやと一緒に捨てられそうになっているウイリー。紫の小石を見つけてとかげにお願いをするアレクサンダ。	○アレクサンダとウイリーの再会 アレクサンダは、本物のねずみになったウイリーと、夜明けまで踊り続ける。	
			第(六)場面											
P 133 ← L 9 終わり	○アレクサンダのお願い 古いおもちやと一緒に捨てられそうになっているウイリー。紫の小石を見つけてとかげにお願いをするアレクサンダ。													
第(七)場面	第(六)場面													
P 138 ← L 5 終わり	P 138 ← L 3 P 133 ← L 9 ○アレクサンダのお願い 古いおもちやと一緒に捨てられそうになっているウイリー。紫の小石を見つけてとかげにお願いをするアレクサンダ。													
○アレクサンダとウイリーの再会 アレクサンダは、本物のねずみになったウイリーと、夜明けまで踊り続ける。														

5 下	83	上段表	<table border="1"> <tr> <th colspan="4">その一 (子ぎつねの誘)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">第(三)場面</th> <th colspan="2">第(二)場面</th> </tr> <tr> <td> P 47 ← L 12 </td> <td> P 45 ← L 3 </td> <td> P 45 ← L 2 </td> <td> P 38 ← L 14 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 二人は、紺三郎から、再度、幻灯会に誘われる。 </td> <td colspan="2"> 子ぎつねの紺三郎に出会う。四郎とかん子は、紺三郎を警戒するが、やがて仲よくなり、歌ったり踊ったりする。そして、幻灯会の誘いを受ける。 </td> </tr> </table>	その一 (子ぎつねの誘)				第(三)場面		第(二)場面		P 47 ← L 12	P 45 ← L 3	P 45 ← L 2	P 38 ← L 14	二人は、紺三郎から、再度、幻灯会に誘われる。		子ぎつねの紺三郎に出会う。四郎とかん子は、紺三郎を警戒するが、やがて仲よくなり、歌ったり踊ったりする。そして、幻灯会の誘いを受ける。		<table border="1"> <tr> <th colspan="4">その一 (子ぎつねの誘)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">第(三)場面</th> <th colspan="2">第(二)場面</th> </tr> <tr> <td> P 47 ← L 12 </td> <td> P 45 ← L 7 </td> <td> P 45 ← L 6 </td> <td> P 38 ← L 14 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 二人は、紺三郎から、再度、幻灯会に誘われる。 </td> <td colspan="2"> 四郎とかん子は、紺三郎と一緒に林の中の鹿の子を呼ぼうと、歌ったり踊ったりする。 </td> </tr> </table>	その一 (子ぎつねの誘)				第(三)場面		第(二)場面		P 47 ← L 12	P 45 ← L 7	P 45 ← L 6	P 38 ← L 14	二人は、紺三郎から、再度、幻灯会に誘われる。		四郎とかん子は、紺三郎と一緒に林の中の鹿の子を呼ぼうと、歌ったり踊ったりする。	
			その一 (子ぎつねの誘)																																	
第(三)場面		第(二)場面																																		
P 47 ← L 12	P 45 ← L 3	P 45 ← L 2	P 38 ← L 14																																	
二人は、紺三郎から、再度、幻灯会に誘われる。		子ぎつねの紺三郎に出会う。四郎とかん子は、紺三郎を警戒するが、やがて仲よくなり、歌ったり踊ったりする。そして、幻灯会の誘いを受ける。																																		
その一 (子ぎつねの誘)																																				
第(三)場面		第(二)場面																																		
P 47 ← L 12	P 45 ← L 7	P 45 ← L 6	P 38 ← L 14																																	
二人は、紺三郎から、再度、幻灯会に誘われる。		四郎とかん子は、紺三郎と一緒に林の中の鹿の子を呼ぼうと、歌ったり踊ったりする。																																		

令和6年度版『ひろがる言葉 小学国語 教師用指導書 朱書編』

学年・巻	ページ	行・箇所	原文	訂正文
1下	13	4	<p style="text-align: center;"> 3 ですから、 たくさんの の </p> <p style="font-size: small; color: red; text-align: right;"> やくわりとやくわりをつなぐ接続語 つくり1 </p>	<p style="text-align: center;"> 3 ですから、 たくさんの の </p> <p style="font-size: small; color: red; text-align: right;"> やくわりとつくりをつなぐ接続語 つくり1 </p>
2下	117	8	<p style="text-align: center;"> い い よ し </p>	<p style="text-align: center;"> い い よ し </p>
2下	117	11	<p style="text-align: center;"> こ う しゃ </p> <p style="font-size: small; color: red; text-align: right;"> 校 </p>	<p style="text-align: center;"> こ う しゃ </p>

5 下	60	8-10	<p>(七) 二人は雪の野原を帰る。</p> <p>きつねの生徒は、みんな して、キラキラなみだをこ 紺三郎が、二人の前に来 「それでは。さようなら。」</p> 	<p>(七) 二人は雪の野原を帰る。</p> <p>きつねの生徒は、みんな して、キラキラなみだをこ 紺三郎が、二人の前に来 「それでは。さようなら。」</p> 
-----	----	------	---	--

以上